

# 小規模校対策に関する実施計画

平成 2 2 年 9 月

名古屋市教育委員会

# 目 次

## 第1 実施計画の策定にあたって

1 趣旨	1
2 小規模校対策の概要	1
(1) 望ましい学校規模(適正規模)	1
(2) 小規模校対策の対象	2
(3) 小規模校対策の方法	2
(4) 通学距離	2
3 対象校の選定	2
4 具体的な進め方	3
(1) 第1グループ	3
(2) 第2グループ	3
(3) 第3グループ	3
5 留意点	3
(1) 児童への配慮	3
(2) 通学の安全	4
(3) 保護者、地域との連携・協力	4
(4) 統合後の校舎・校地の活用	4
6 次期実施計画の策定	4
グループ別対象校一覧	5

## 第2 学校ごとの方策

1 方法	6
2 視点	6
3 方策	6
西区 幅下小学校・江西小学校・那古野小学校	7
西区 南押切小学校	9
中村区 豊臣小学校	11
中区 御園小学校	13
昭和区 白金小学校	15
南区 大生小学校	17
天白区 高坂小学校	19

## 第1 実施計画の策定にあたって

### 1 趣旨

名古屋市では、少子化に伴って児童・生徒数が減少しています。特にいわゆる都心部と呼ばれる地域の減少は著しく、クラス替えができない小規模校が増加しています。

本来、学校は、多くの児童・生徒がともに生活して、学習や遊びの中でお互いに協力し合い、切磋琢磨し合いながら、様々なルールを学び、社会性や生涯にわたる学習基盤を身に付けていく場です。小規模校では、友達が限られ、競い合ったり、高め合うことが難しかったり、あるいは、児童・生徒同士の人間関係が崩れると、その修復が困難になったりするなどの課題があります。

そこで、教育委員会は、平成20年9月から、学識経験者、保護者・地域の代表、市立学校の校長・教員の代表などで構成する「名古屋市学校教育研究協議会」で検討を行い、平成21年9月に小・中学校の学校規模のあり方についての検討結果が報告されました。

教育委員会では、この協議会からの報告を踏まえ、パブリックコメント手続及び市会での審議を経て、平成22年3月に「名古屋市長小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定しました。

そして、このたび、この「基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた平成23年度から平成28年度までを計画期間とする「小規模校対策に関する実施計画」（以下「実施計画」という。）を策定しました。

### 2 小規模校対策の概要

小規模校対策は、小学校を優先して取り組み、中学校については、小学校の小規模校対策の進捗状況や教育環境、社会状況の変化等を勘案し改めて検討するため、今回の「実施計画」の対象外とします。

#### (1) 望ましい学校規模（適正規模）

望ましい学校規模（適正規模）は、小学校では、少なくとも各学年でクラス替えができる12学級（各学年2学級）から24学級（各学年4学級）とします。

なお、特別支援学級は、設置基準が異なることから、ここで示す学級数には含めないものとします。

## ( 2 ) 小規模校対策の対象

小規模校対策は、クラス替えができない学年が生じる 11 学級以下の小学校を対象とします。

## ( 3 ) 小規模校対策の方法

小規模校対策は、同じ中学校ブロック内で望ましい学校規模になるよう、次の二つの方法により進めます。

### ア 学校の統合

隣接する複数の学校を統合し、学校規模適正化を図る方法

### イ 通学区域の変更

隣接する学校が大規模校の場合に、その一部を小規模校の通学区域に変更し、学校規模適正化を図る方法

## ( 4 ) 通学距離

通学は徒歩を基本とし、児童の発達段階を考慮し、小学校では概ね 2 キロメートルを通学距離の目安とします。

## 3 対象校の選定

今回の「実施計画」では、平成 22 年 5 月 1 日現在における学級数及び 0 歳児から 5 歳児までの幼児人口により推計した将来の学級数を基に、小規模校対策の対象となる小学校を選定しました（ただし、既に統合を実施した学校を除く。）。また、小規模校対策の対象となる学校のすべてを一斉に実施することは困難であることから、次の基準により優先順位のグループに分け、第 1 グループから段階的に順次取り組んでいきます。

区 分	基 準
第 1 グループ	現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校
第 2 グループ	現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に 6 学級でなくなる見込みの学校（6 学級 7～11 学級）及び現在、7 学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内に 6 学級になる見込みの学校（7～11 学級 6 学級）
第 3 グループ	現在、7 学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

小規模校対策の対象校は「グループ別対象校一覧」（5 ページ）のとおりです。

## 4 具体的な進め方

### (1) 第1グループ

#### ア 説明会の開催

保護者、地域住民へ教育委員会の方針や小規模校の課題などの理解を深めるために説明会を開催します。

#### イ 検討組織の設置・協議

対象校の学区ごとに、保護者、地域、学校、行政の代表者などからなる検討組織を設置し、小規模校の課題の整理や地域の実情に応じた今後の進め方などを協議します。

#### ウ 合同検討組織の設置・協議

検討組織において、基本的な事項の了承が得られたところで、関係学区の保護者、地域住民、学校の代表者からなる合同検討組織を設置し、小規模校対策を実施する時期や学校の位置、通学区域などを話し合い、統合等の合意形成を図ります。協議内容については、全保護者や地域住民に文書で知らせたり、ホームページなどを活用するなど、情報の提供に努め、理解と協力を得ながら進めるようにします。

#### エ 統合準備会の設置・協議

合同検討組織において、統合の合意が得られたところで、統合準備会を設置し、統合スケジュールや校名、校歌、校章、教育活動の充実、教育環境の整備、通学の安全対策など開校に向けた話し合いを進め、実施計画期間内の開校を目指します。

### (2) 第2グループ

保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第1グループに準じて進めます。

### (3) 第3グループ

保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行います。

## 5 留意点

小規模校対策は、保護者や地域住民の十分な理解を得ながら、以下の事項に留意して進めます。

### (1) 児童への配慮

新たな人間関係をスムーズに構築できるように対象校同士の交流、

スクールカウンセラーの派遣など児童の身体的・精神的な負担を最小限に抑える取り組みを進めます。

( 2 ) 通学の安全

関係行政機関との連携、学校の安全対策、家庭・地域との協力により通学の安全確保に努めます。

( 3 ) 保護者、地域との連携・協力

情報の共有化を図り、保護者、地域住民の意見・要望を聞きながら進めます。

( 4 ) 統合後の校舎・校地の活用

可能な限り既存校舎を活用し、必要に応じて整備を検討します。また、使用しなくなる校舎や校地は、全市的な視点での有効活用などを検討します。

また、学校の統合にあたっては、一方の学校を残し他方の学校を廃止するという考え方ではなく、新しい学校を開設するという考え方とします。

なお、小規模校対策には相当な期間を要することが想定されるため、対象校となった場合でも、児童生徒の教育活動に支障がないよう、必要に応じて学校施設の修繕を行い、教育環境を整えます。

6 次期実施計画の策定

児童数や学級数については、地域ごとの要因により常に変化するものであることから、今後も各校における状況の変化等を見ながら、6年ごとに新たな実施計画を策定します。

グループ別対象校一覧

グループ	区	学校名	区	学校名
第1グループ 9校	西区	幅下小	中区	御園小
		南押切小	昭和区	白金小
		江西小	南区	大生小
		那古野小	天白区	高坂小
	中村区	豊臣小		
第2グループ 18校	千種区	内山小	中川区	広見小
		千種小		正色小
	北区	六郷小	港区	中川小
		六郷北小		西築地小
	西区	榎小	緑区	浦里小
		浮野小	名東区	梅森坂小
	中村区	中村小	天白区	相生小
	中区	栄小		
		平和小		
		千早小		
		大須小		
	第3グループ 17校	東区	東桜小	瑞穂区
明倫小			港区	西福田小
北区		大杉小	南区	白水小
		杉村小		柴田小
西区		栄生小		千鳥小
中村区		米野小	守山区	本地丘小
		諏訪小		西城小
中区		松原小	名東区	牧の原小
昭和区	鶴舞小			

## 第2 学校ごとの方策

今後、対象となるそれぞれの学校について順次取り組みを進めていきますが、今回の「実施計画」では、対象校の優先順位の基準により第1グループに属する学校について、学校ごとの方策を定めました。

### 1 方法

隣接する学校が大規模校のため、統合することで適正規模を超える場合には、通学区域の一部を変更する方法もありますが、今回、第1グループに属する9校については、いずれもそれに該当しないため、統合による小規模校対策を進めます。

### 2 視点

統合の相手校については、次の視点により選定します。

#### < 統合相手校選定の視点 >

同一中学校ブロック内で隣接する小規模校対策の対象校  
隣接する学校が小規模校対策の対象校でない場合には、同一中学校ブロック内で隣接する学校  
統合後の学校規模が適正規模（12～24学級）になること  
統合後の通学距離が概ね2kmであること  
学校の沿革や歴史、地域の特性

なお、統合後の校舎位置については、次の視点を踏まえ、保護者、地域住民と協議のうえ選定していきます。

#### < 統合後の校舎位置選定の視点 >

保有普通教室数  
校地面積  
学校の沿革や歴史、地域の特性

### 3 方策

上記1、2により、第1グループに属するそれぞれの学校ごとの方策を次のように定めました。

なお、第2グループ又は第3グループに属する対象校のうち、学校ごとの方策が必要となる場合には、その都度「実施計画」を修正します。



## 西 区

幅下小学校・江西小学校・那古野小学校

### 現状及び統合後の学級数

平成22年5月1日現在、幅下小学校、江西小学校、那古野小学校の普通学級数は、いずれも6学級である。

これら3校は、すべて菊井中学校ブロックである。

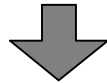
幅下小学校、江西小学校、那古野小学校の3校を統合した場合の普通学級数は13～14学級となり、適正規模の学校になる。

### 校地・教室の状況

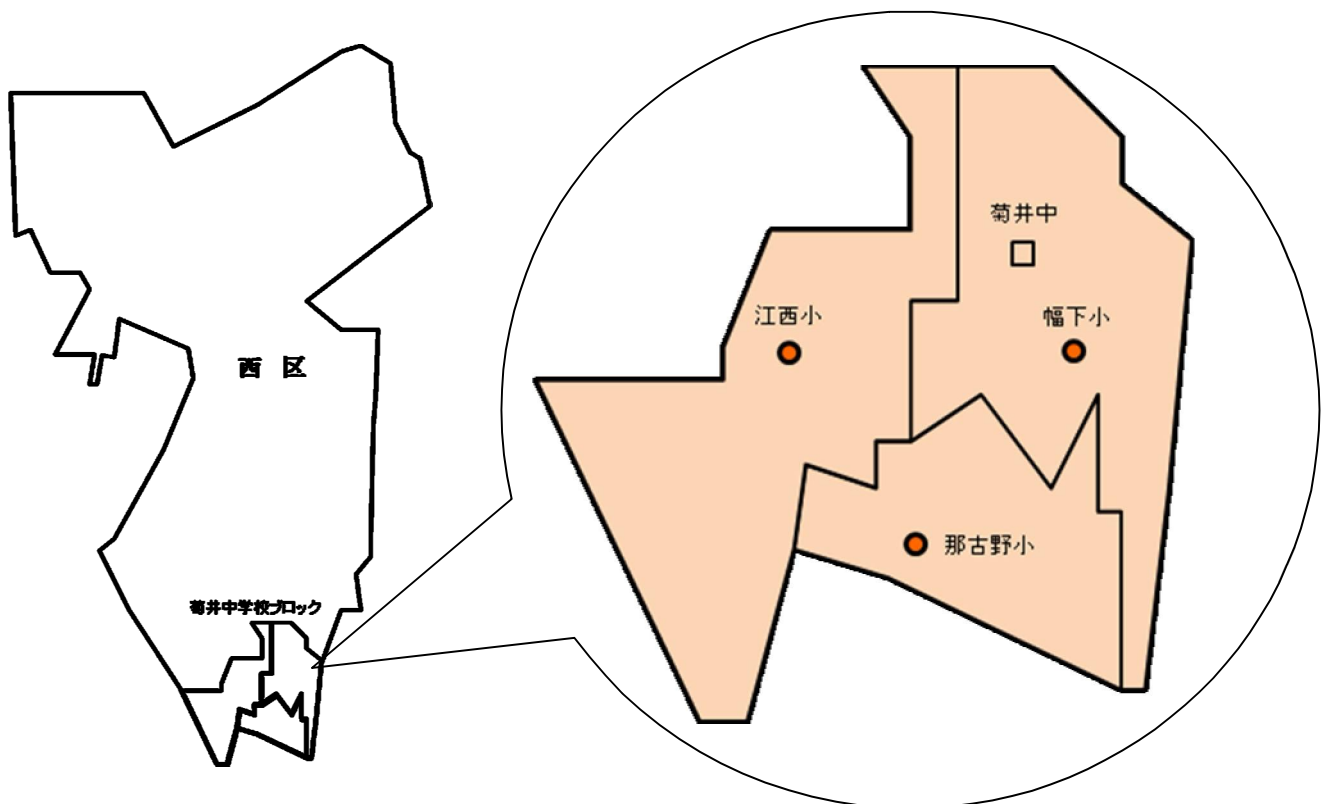
幅下小学校の校地面積は13,659㎡、普通教室は11室ある。

江西小学校の校地面積は7,437㎡、普通教室は10室ある。

那古野小学校の校地面積は6,947㎡、普通教室は6室ある。



幅下小学校・江西小学校・那古野小学校の3校を統合

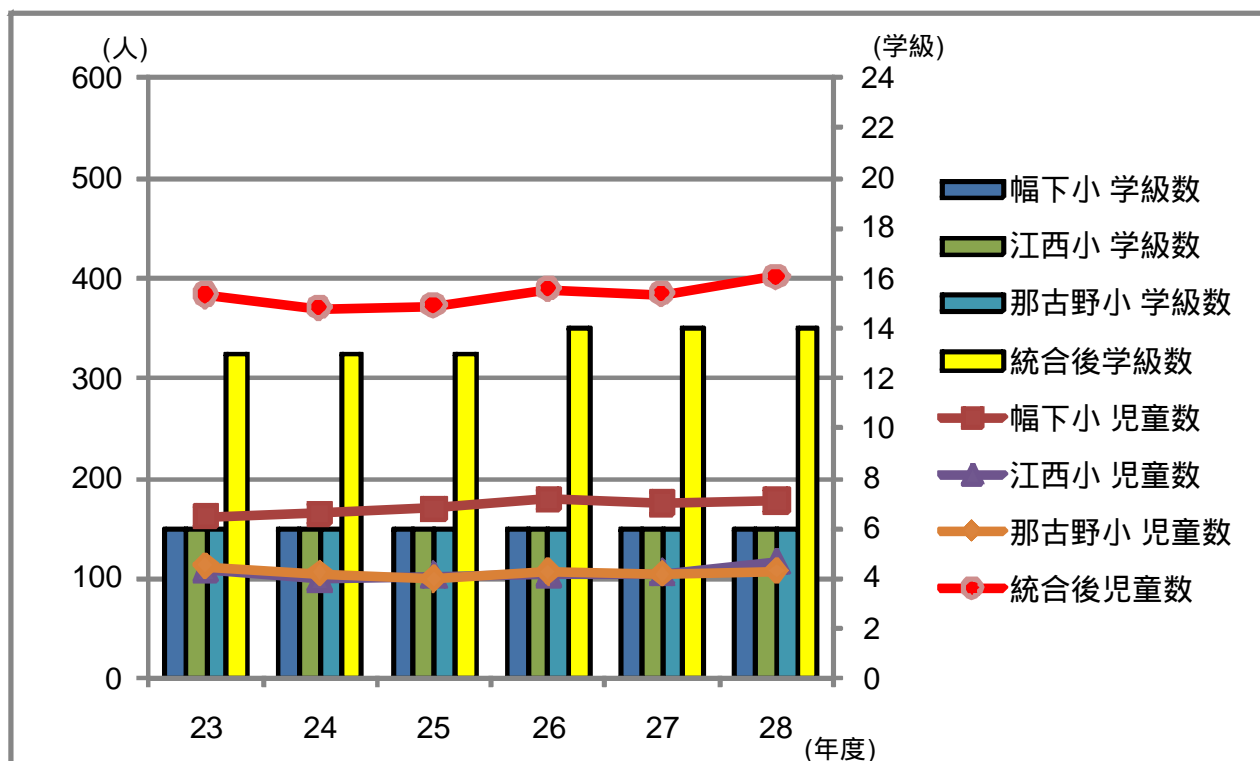


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
幅下小	1	1	1	1	1	1	6	26	33	24	27	26	33	169
江西小	1	1	1	1	1	1	6	10	15	20	16	23	21	105
那古野小	1	1	1	1	1	1	6	17	18	15	20	23	17	110
統合後	2	3	2	2	2	2	13	53	66	59	63	72	71	384

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
幅下小		6	6	6	6	6	6		162	165	170	179	175	178
江西小		6	6	6	6	6	6		109	100	103	104	105	116
那古野小		6	6	6	6	6	6		112	105	99	106	104	107
統合後		13	13	13	14	14	14		383	370	372	389	384	401

## 西 区

### 南押切小学校

#### 現状及び統合後の学級数

平成22年5月1日現在、南押切小学校の普通学級数は、6学級である。

同校がある天神山中学校ブロックには、他に榎小学校、栄生小学校、枇杷島小学校があるが、榎小学校と栄生小学校はいずれも小規模校対策の対象となっている（榎小学校：第2グループ、栄生小学校：第3グループ）。

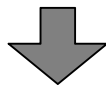
南押切小学校、榎小学校、栄生小学校の3校を統合した場合の普通学級数は19～20学級となり、適正規模の学校になる。

#### 校地・教室の状況

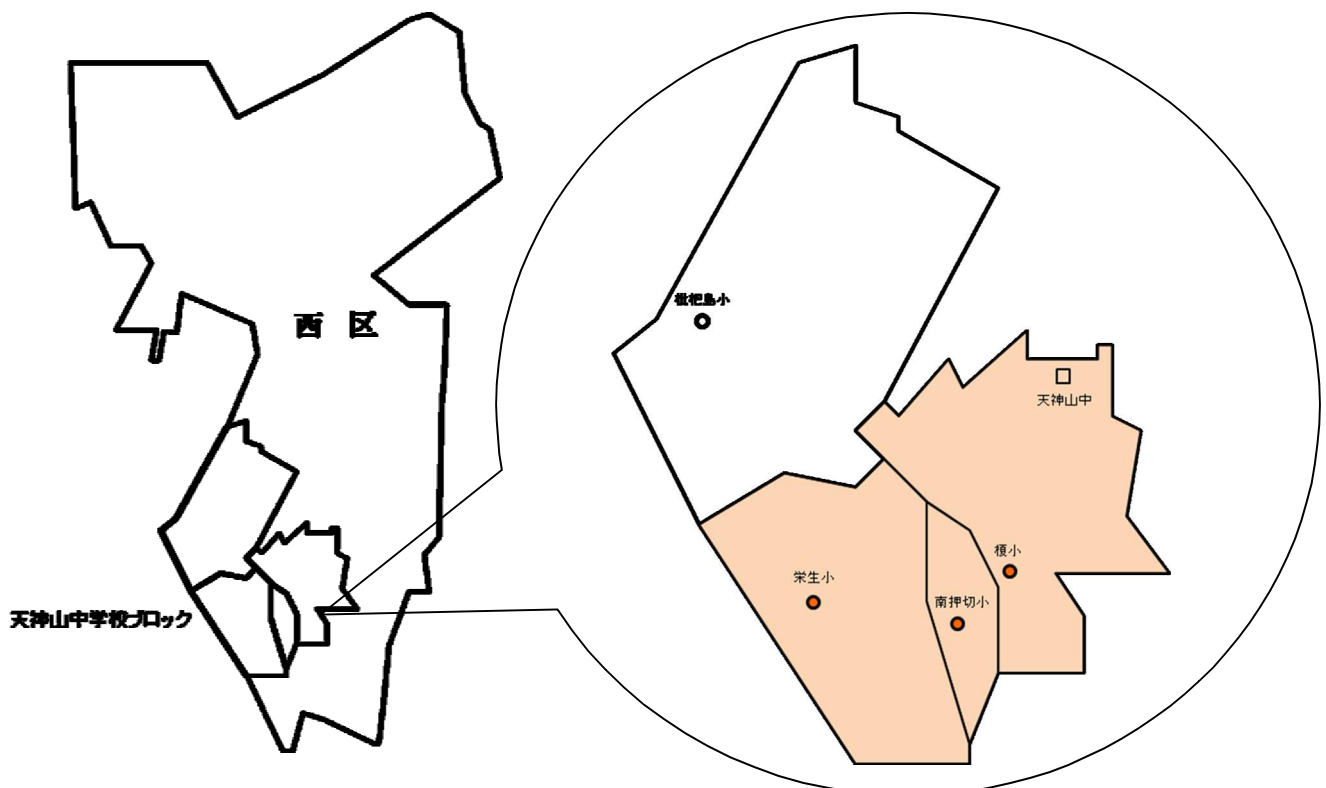
南押切小学校の校地面積は8,000㎡、普通教室は9室ある。

榎小学校の校地面積は5,771㎡、普通教室は10室ある。

栄生小学校の校地面積は9,855㎡、普通教室は11室ある。



南押切小学校・榎小学校・栄生小学校の3校を統合

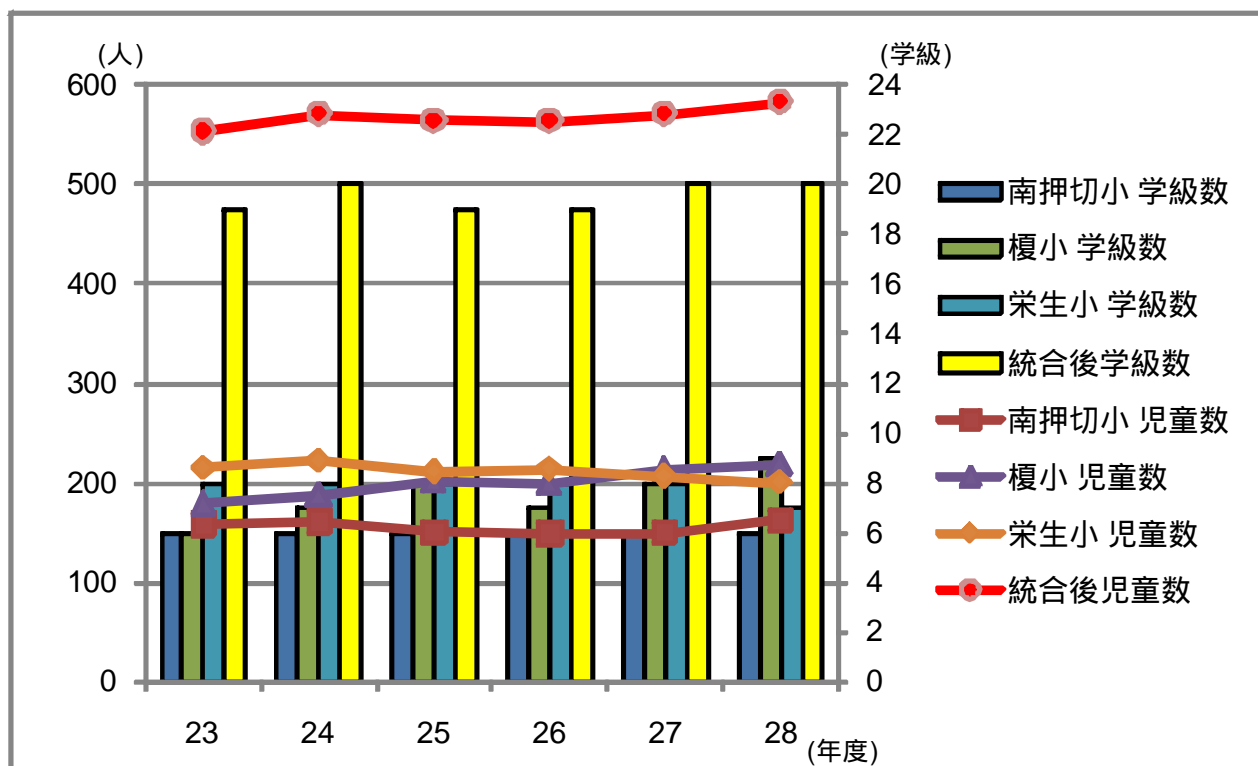


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
南押切小	1	1	1	1	1	1	6	19	29	29	30	25	34	166
榎小	1	1	1	1	1	1	6	34	25	35	30	28	40	192
栄生小	2	2	1	1	1	1	8	35	40	33	35	30	40	213
統合後	3	4	3	3	3	3	19	88	94	97	95	83	114	571

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
南押切小		6	6	6	6	6	6		159	161	151	149	150	163
榎小		6	7	8	7	8	9		179	187	202	200	214	219
栄生小		8	8	8	8	8	7		215	222	211	214	206	200
統合後		19	20	19	19	20	20		553	570	564	563	570	582

中村区  
豊臣小学校

現状及び統合後の学級数

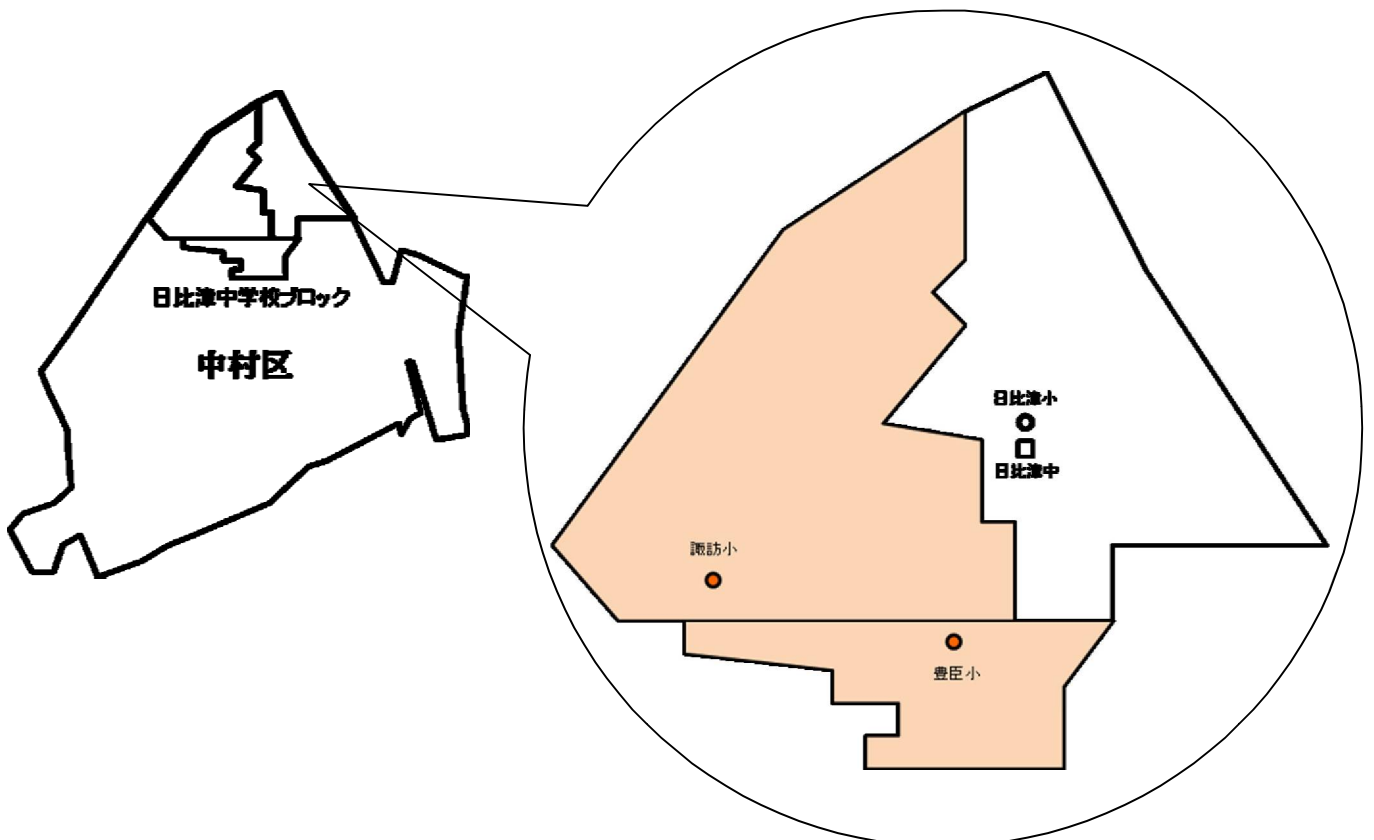
平成22年5月1日現在、豊臣小学校の普通学級数は、6学級である。  
同校がある日比津中学校ブロックには、他に諏訪小学校、日比津小学校があるが、諏訪小学校は11学級であり、小規模校対策の対象（第3グループ）となっている。  
豊臣小学校と諏訪小学校を統合した場合の普通学級数は14～15学級となり、適正規模の学校になる。

校地・教室の状況

豊臣小学校の校地面積は8,648㎡、普通教室は11室ある。  
諏訪小学校の校地面積は13,464㎡、普通教室は12室ある。



豊臣小学校・諏訪小学校の2校を統合

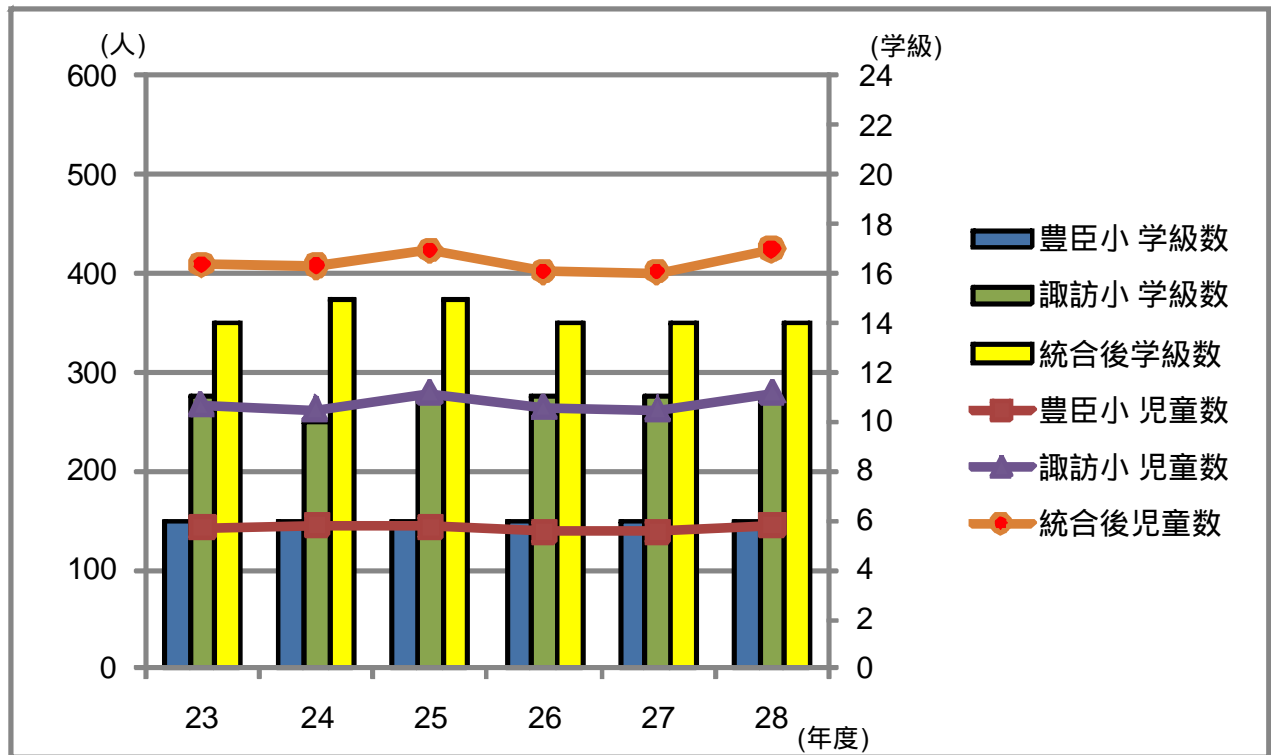


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
豊臣小	1	1	1	1	1	1	6	18	24	30	27	22	30	151
諏訪小	2	2	2	1	2	2	11	38	44	53	35	45	44	259
統合後	2	3	3	2	2	2	14	56	68	83	62	67	74	410

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)						児童数 (人)							
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
豊臣小		6	6	6	6	6	6		143	145	144	139	139	145
諏訪小		11	10	11	11	11	11		266	262	279	263	262	279
統合後		14	15	15	14	14	14		409	407	423	402	401	424

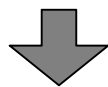
中 区  
御園小学校

現状及び統合後の学級数

平成22年5月1日現在、御園小学校の普通学級数は、6学級である。  
同校がある丸の内中学校ブロックには、他に名城小学校がある。  
御園小学校と名城小学校を統合した場合の普通学級数は10～11学級になる。

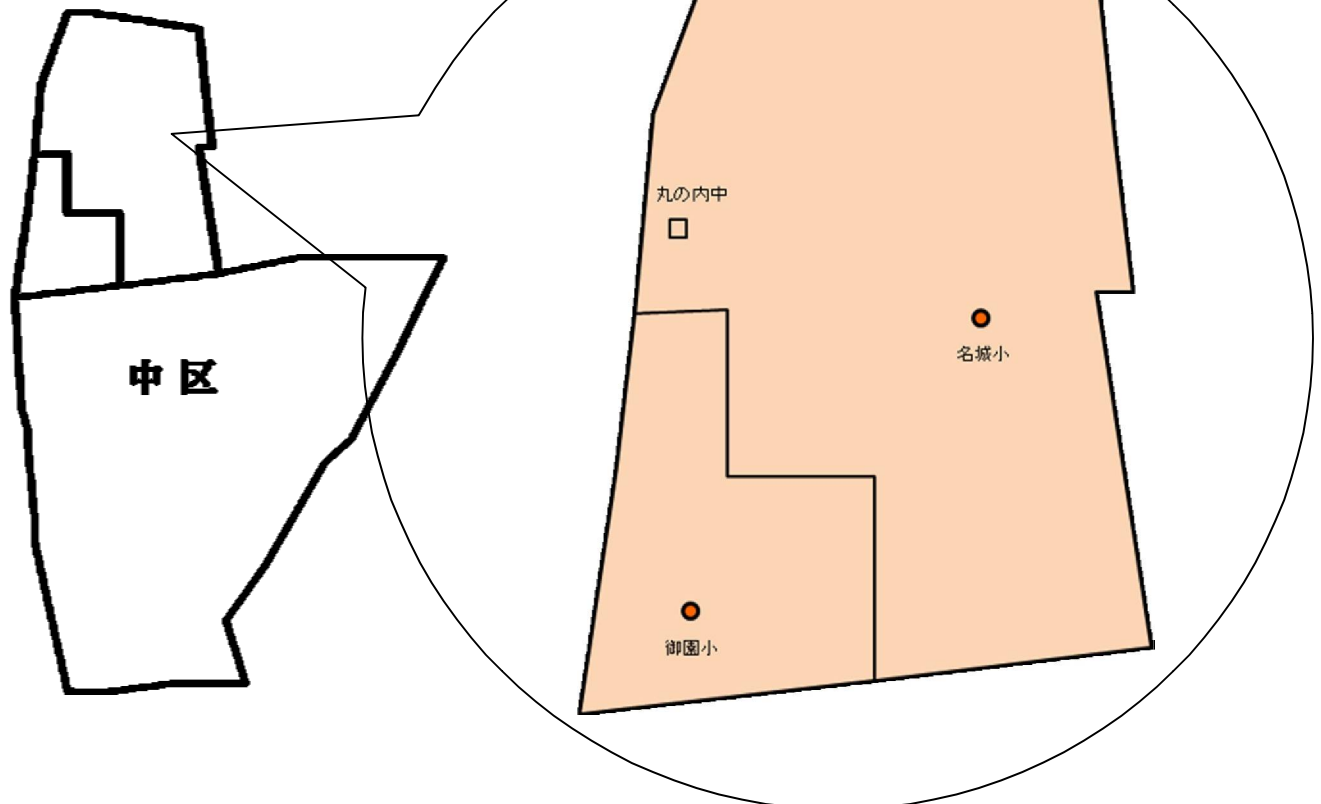
校地・教室の状況

御園小学校の校地面積は9,613㎡、普通教室は7室ある。  
名城小学校の校地面積は10,914㎡、普通教室は20室ある。



御園小学校・名城小学校の2校を統合

丸の内中学校ブロック

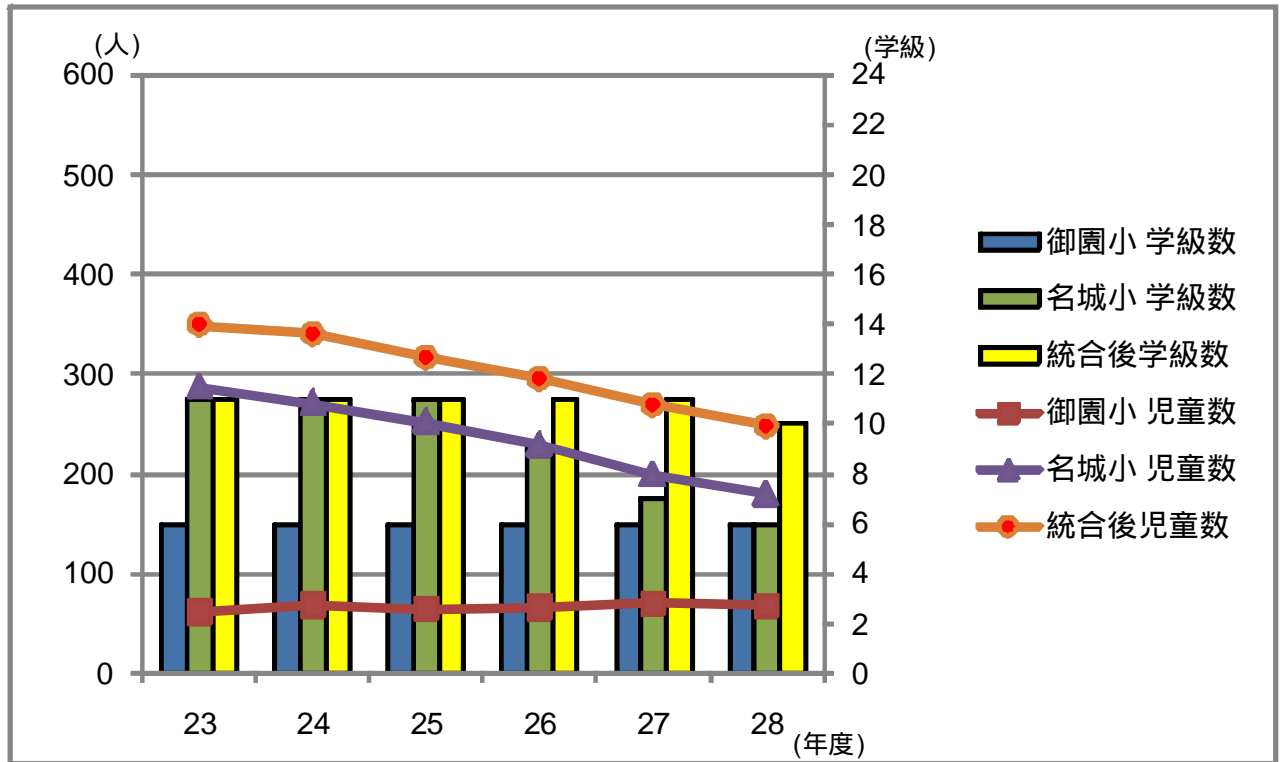


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
御園小	1	1	1	1	1	1	6	12	9	13	14	8	13	69
名城小	2	2	2	2	2	2	12	48	53	49	56	55	61	322
統合後	2	3	2	2	2	2	13	60	62	62	70	63	74	391

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
御園小		6	6	6	6	6	6		62	69	65	66	70	68
名城小		11	11	11	9	7	6		287	271	252	229	199	180
統合後		11	11	11	11	11	10		349	340	317	295	269	248



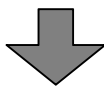
昭和区  
白金小学校

現状及び統合後の学級数

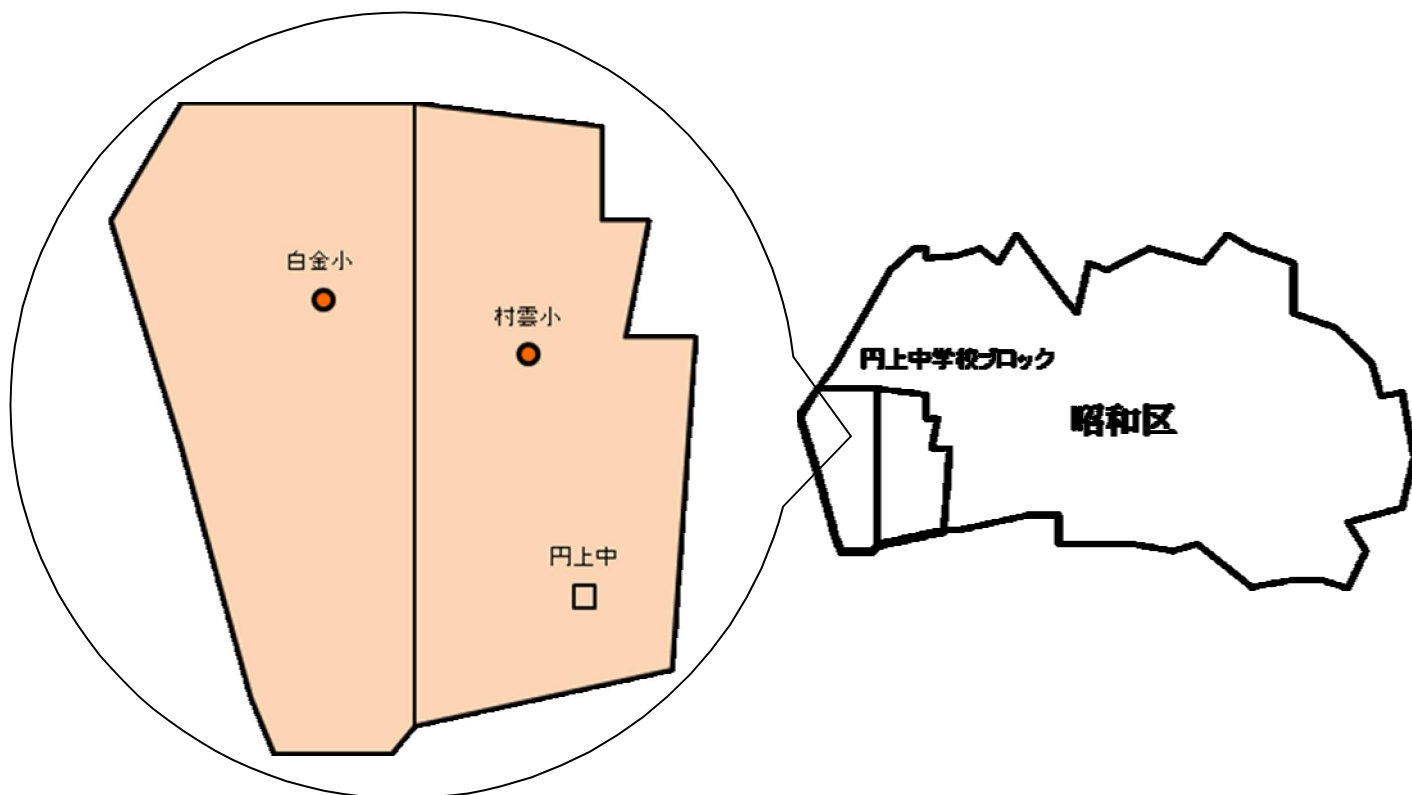
平成22年5月1日現在、白金小学校の普通学級数は、6学級である。  
同校がある円上中学校ブロックには、他に村雲小学校がある。  
白金小学校と村雲小学校を統合した場合の普通学級数は14～15学級となり、適正規模の学校になる。

校地・教室の状況

白金小学校の校地面積は9,604㎡、普通教室は9室ある。  
村雲小学校の校地面積は13,035㎡、普通教室は17室ある。



白金小学校・村雲小学校の2校を統合

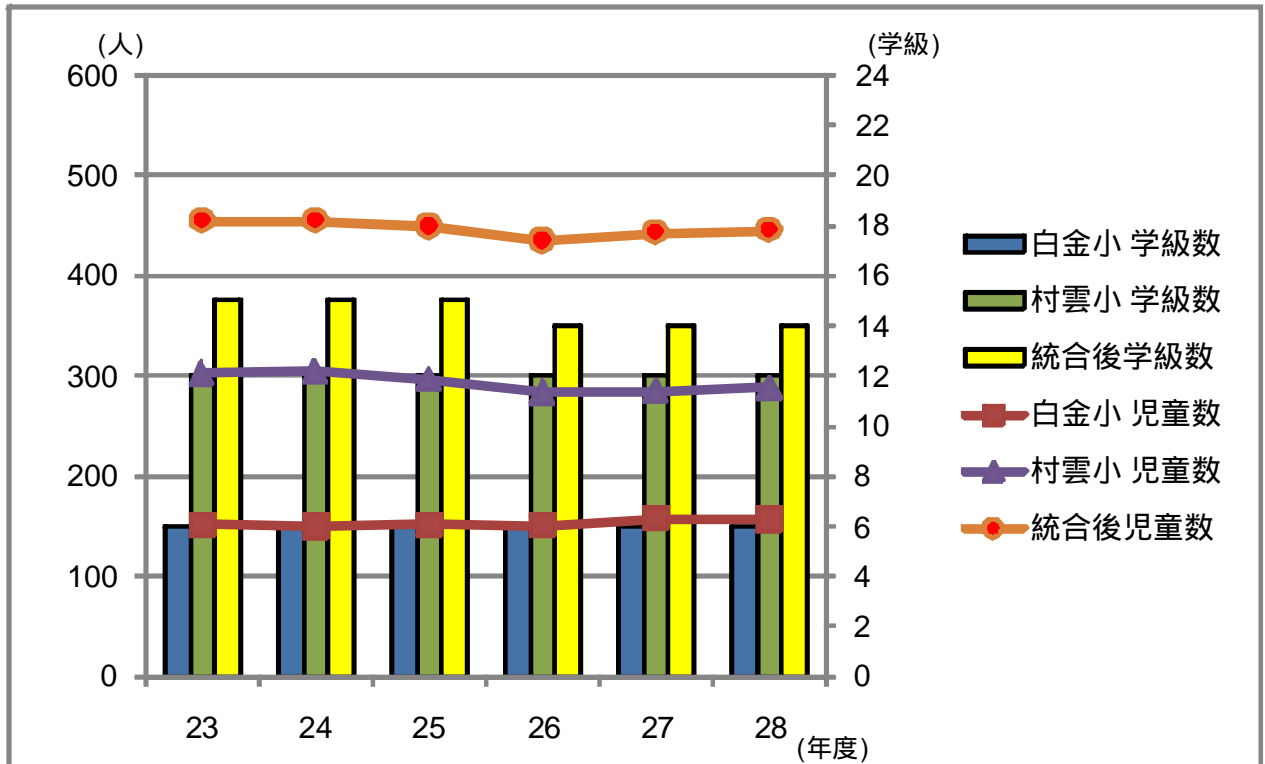


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
白金小	1	1	1	1	1	1	6	26	27	24	22	28	23	150
村雲小	2	2	2	2	2	2	12	43	50	65	53	47	53	311
統合後	3	3	3	2	2	2	15	69	77	89	75	75	76	461

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
白金小		6	6	6	6	6	6		152	150	152	151	158	157
村雲小		12	12	12	12	12	12		303	305	297	284	285	288
統合後		15	15	15	14	14	14		455	455	449	435	443	445

南区

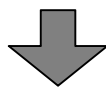
大生小学校

現状及び統合後の学級数

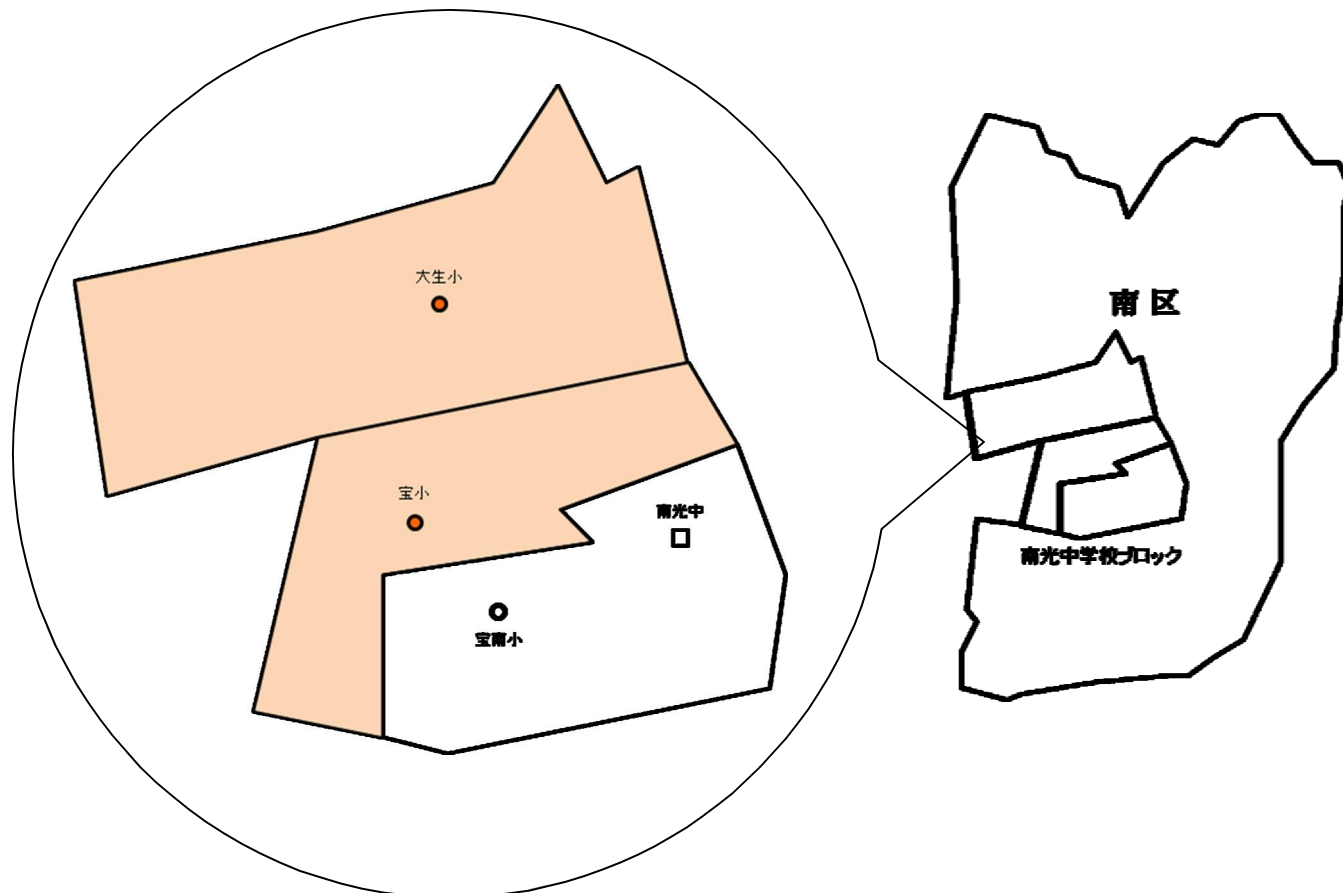
平成22年5月1日現在、大生小学校の普通学級数は、6学級である。  
同校がある南光中学校ブロックには、他に宝小学校と宝南小学校がある。  
大生小学校と宝小学校を統合した場合の普通学級数は17～18学級となり、適正規模の学校になる。

校地・教室の状況

大生小学校の校地面積は13,728㎡、普通教室は14室ある。  
宝小学校の校地面積は14,705㎡、普通教室は32室ある。



大生小学校・宝小学校の2校を統合

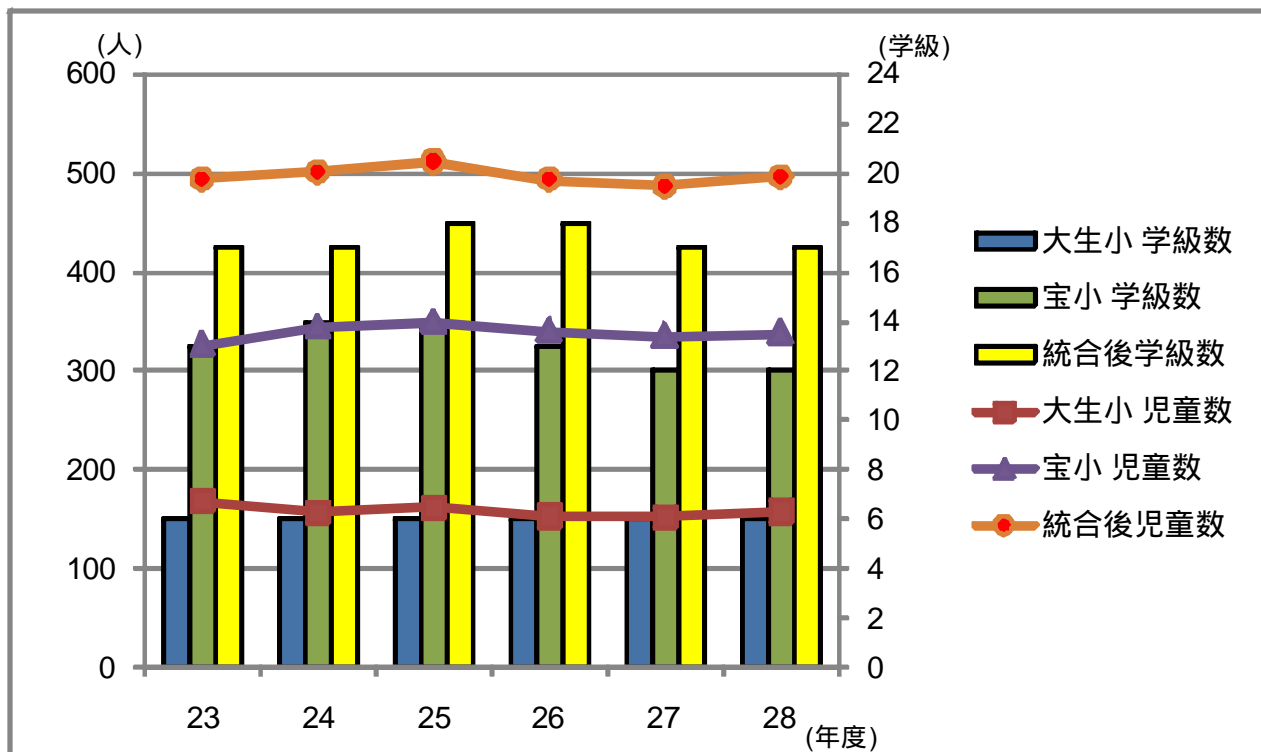


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
大生小	1	1	1	1	1	1	6	25	29	37	25	30	25	171
宝小	2	2	2	2	2	2	12	44	52	61	58	49	47	311
統合後	3	3	3	3	2	2	16	69	81	98	83	79	72	482

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
大生小		6	6	6	6	6	6		168	157	162	153	152	158
宝小		13	14	14	13	12	12		326	344	349	340	335	338
統合後		17	17	18	18	17	17		494	501	511	493	487	496

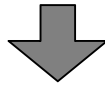
天白区  
高坂小学校

現状及び統合後の学級数

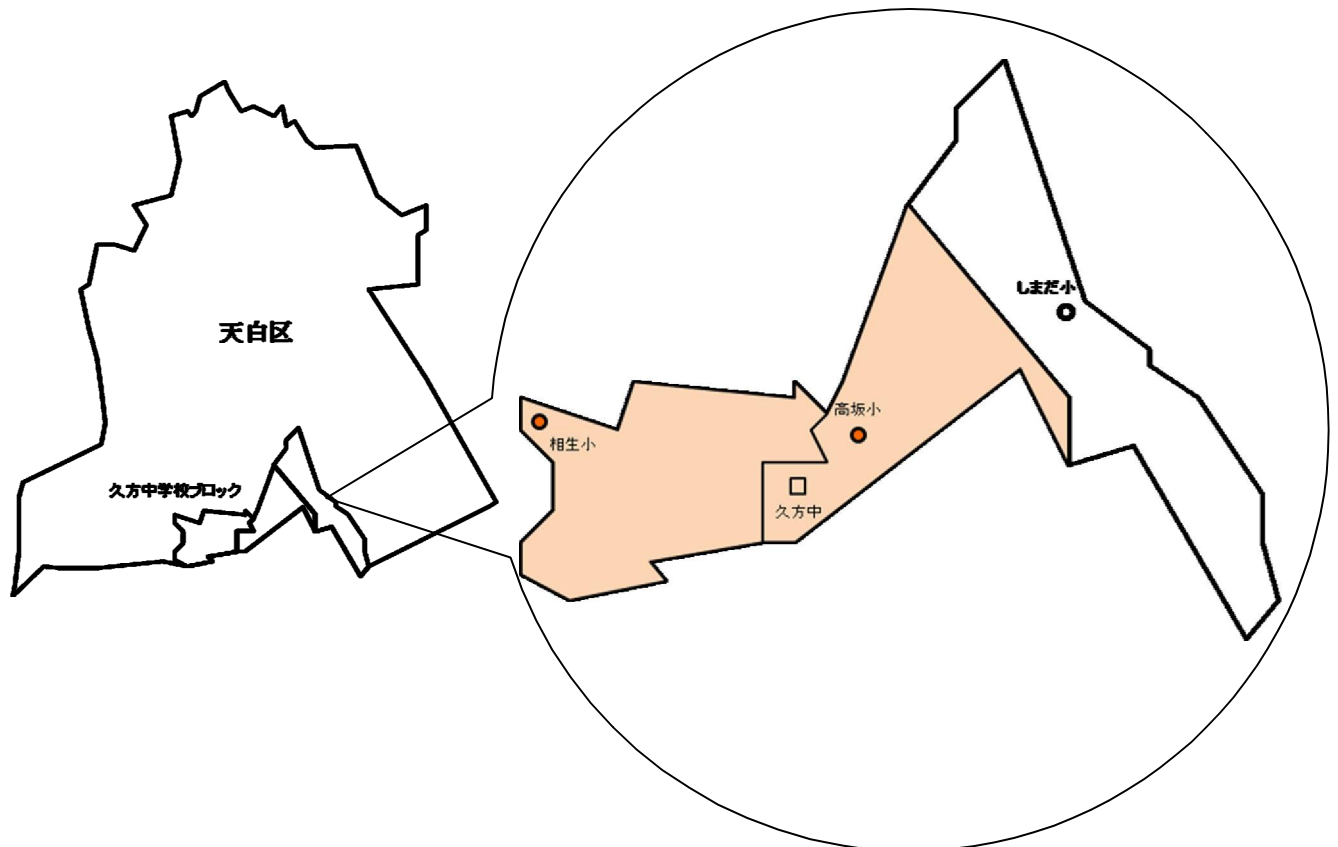
平成22年5月1日現在、高坂小の普通学級数は、6学級である。  
同校がある久方中学校ブロックには、他に相生小学校、しまだ小学校があるが、相生小学校は7学級であり、小規模校対策の対象（第2グループ）となっている。  
高坂小学校と相生小学校を統合した場合の普通学級数は12学級となり、適正規模の学校になる。

校地・教室の状況

高坂小学校の校地面積は12,396㎡、普通教室は12室ある。  
相生小学校の校地面積は11,592㎡、普通教室は14室ある。



高坂小学校・相生小学校の2校を統合

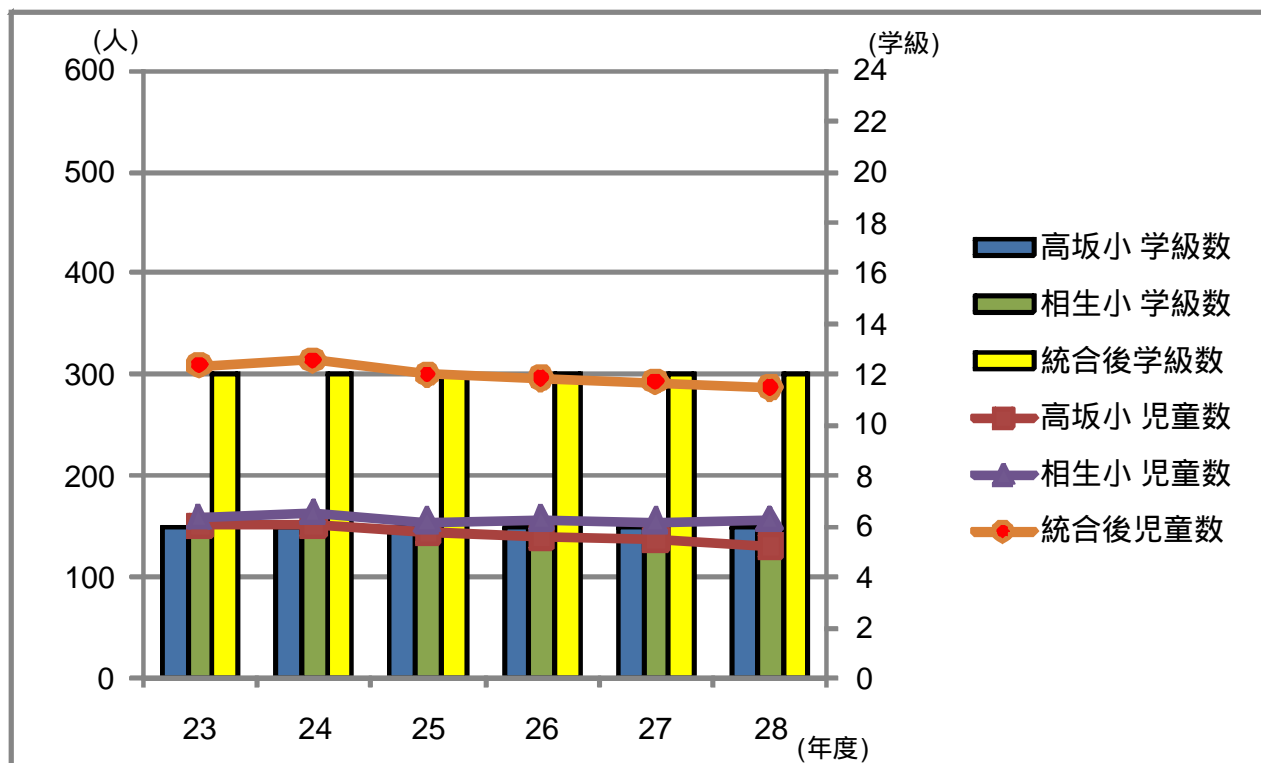


現状

平成22年5月1日現在

小学校名	学級数 (学級)							児童数 (人)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
高坂小	1	1	1	1	1	1	6	26	21	28	29	26	23	153
相生小	1	1	1	2	1	1	7	23	25	27	40	16	28	159
統合後	2	2	2	2	2	2	12	49	46	55	69	42	51	312

将来推計



平成22年5月1日推計

小学校名	学級数 (学級)						児童数 (人)							
	年度	23	24	25	26	27	28	年度	23	24	25	26	27	28
高坂小		6	6	6	6	6	6		151	151	145	139	137	131
相生小		6	6	6	6	6	6		158	163	155	157	155	156
統合後		12	12	12	12	12	12		309	314	300	296	292	287

〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

名古屋市教育委員会事務局総務部施設計画室（市役所東庁舎6階）

電話 052-972-3282 FAX 052-972-4176